

〔様式 1〕

事務事業評価表

1～11までは、担当課による評価

記入年月日	平成15年3月14日			
平成15年度	事業コード	14123	電話	042-769-8279
担当部課名	学校教育部	教職員	課	
事務事業名	少人数指導等講師経費			

1 総合計画における位置づけ

政策名	第4章	人間性豊かな子どもを育成します	事業開始年度
基本施策名	第1節	ゆとりある学校教育の創造	14年度
施策名	第14123施策	教育内容の充実	

2 実施根拠及び関連法令等

--

3 事務の区分

自治事務

4 経費の区分

その他の経費

5 事務事業の分類

市単独事業

6 受益者負担

なし

7 事業概要

(1)事業の目的...何をどのように(どのような状態に)したいのか	(2)対象(誰、何)
少子化の進行に伴い、入学当初から集団生活になじめず、大きな課題を抱える新一年生が増えてきている。新一年生の時期は、学校生活の基礎基本を学ばせ、学習への関心意欲を高め、最も大切な時期にあたる。 学級数が多く、かつ1学級の児童数が多い小学校の新一年生を対象に、少人数指導やきめ細かな指導を支援し、学校生活の順調なスタートを期するため、非常勤講師の配置を行う。	1学年の学級数が4学級以上かつ当該学年の全学級の児童数が35人以上の学校 対象数 8
(3)平成14年度事業の内容...市が実際に行った事業の内容	
1学年の学級数が4学級以上かつ当該学年の全学級の児童数が35人以上の学校の新一年生に非常勤講師を配置した。 配置校7校 配置人数8人	
(4)個別計画の概要	概要
計画名	
計画年次	年度～年度

8 評価指標...事業の目的達成度を計るための指標

15,16年度は目標値

成果指標	指標名	指標式	指標設定の意図	指標の推移(年度)				
				12	13	14	15	16
	実施校の校長の評価	効果があるとする学校数/実施校×100	効果を数値化することは困難であるため、実施校の校長評価を指標とした。			100	100	100
	配置率	配置数/対象学校数×100	対象学校に対しどれだけ対置できたかを指標とした。			100	100	100

9 事業費等の年度別状況

〔金額単位：千円〕

事業費	項目	平成12年度	平成13年度	平成14年度	平成15年度	平成16年度
		決算	決算	決算	予算	予算(見込み)
	決算(予算)額			16,317	16,464	16,464
	人員・時間数			1人×60h/年	1人×60h/年	1人×60h/年
	人件費			250	250	250
	その他経費			0	0	0
	合計	0	0	16,567	16,714	16,714
	特定財源			0	0	0
	対象数			8	8	8
	対象の単位あたり経費	#DIV/0!	#DIV/0!	2,070.9	2,089.3	2,089.3

10 個別評価

(1)達成度 評価 A ▼	A:達成している	チェック項目	・成果指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	B:一部達成していない		・活動指標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
	C:達成していない		・事業目標の達成度 <input checked="" type="checkbox"/> 高 <input type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 低
		説明	配置対象校に対し非常勤講師を配置することができた。また、配置校からは高い評価を受けることができた。
(2)必要性 評価 A ▼	A:適応している	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・市民や社会のニーズにかなっている
	B:一部適応していない		<input checked="" type="checkbox"/> ・状況の変化(対象や内容)に対応している
	C:適応していない		<input type="checkbox"/> ・当初設定した事業目的が達成されていない
		説明	<input type="checkbox"/> ・国、県、民間、市民との役割分担から見て、市が事業を行う必要がある 少子化の進行に伴い、入学当初から集団生活になじめず、大きな課題を抱える新一年生に対する施策として有効である。
(3)有効性 評価 A ▼	A:有効である	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・上位の施策、計画目的達成のために有効である
	B:一部有効でない		<input checked="" type="checkbox"/> ・期待された成果が得られている
	C:有効ではない		
		説明	効果を数値化することは困難であるが、実行校からは高い評価を受けている。
(4)効率性 評価 A ▼	A:優れている	チェック項目	<input checked="" type="checkbox"/> ・予算や人員に見合った効果が得られている
	B:一部改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他市と比べてコストや効率性が優れている
	C:改善の余地がある		<input type="checkbox"/> ・他の類似事例と比べてコストや効率性が優れている
		説明	<input type="checkbox"/> ・同一対象者に対して同種のサービスが重複していない 配置する教師を非常勤講師とすることにより、予算の圧縮を図っている。
(5)公平性 評価 B ▼	A:公平である	チェック項目	<input type="checkbox"/> ・対象者と非対象者との不公平・不均衡は、妥当な範囲である
	B:一部公平でない		<input type="checkbox"/> ・受益者の費用負担は適正である
	C:公平でない		<input type="checkbox"/> ・対象者の設定は適切である(年齢や所得等を考慮している)
		説明	配置基準について検討の余地がある。
成果向上の余地		事業費削減のために取り得る手段と削減額	
<input checked="" type="checkbox"/> あり <input type="checkbox"/> ない	説明: 学校からは配置拡大の要望が強くある。	手段	
		削減額	千円

11 総合評価

評価	AA ▼	他自治体の類似事業との比較
		他自治体で、同様の制度を採用している事例はない。 他自治体から本制度についての問合せが多くあり、関心の高さが伺われるとともに、本制度が対外的に評価されていることが実証されている。
今後の進め方		
<input checked="" type="checkbox"/>	継続	総合評価に関する説明
<input type="checkbox"/>	見直し	制度としては実施校から高い評価を得ることができた。 今後は実施結果を踏まえて現在の配置基準の見直しを図り、今後の方向性を見極めていきたい。
<input type="checkbox"/>	廃止	
<input type="checkbox"/>	完了・廃止済	

12 二次評価コメント

--